

### 3. 生命機能研究科で開講される授業科目群について

#### ○A群基礎科目

講義科目、実習科目、研究紹介科目があり、ほとんどの科目が集中講義として開講されています。広いバックグラウンドを持つためにも、指導教員とよく相談のうえ、これまでに学部で学んだ分野と異なる分野を学ぶようにしてください。

なお、概論科目は研究紹介を目的とした科目で、春学期は日本語で、秋学期が英語で開講しています。開講学期は毎年入れ替えており、同じ名前の講義が翌年は異なる学期での開講となります。

#### ○B群専門科目

a：所属研究室等で実施される論文講読、研究報告会、セミナー等への参加 ※4単位  
セミナー聴講レポートの提出が単位認定の要件となります。詳細については、下記の「B群専門科目認定のための「5つのセミナー聴講レポート」について」を参照してください。

#### b：生命機能学

所属研究室以外の教員（副指導教員）へ自身の研究の進捗状況を報告し、討論を行ったうえで助言を得ること、また、2年次学年末の中間発表前の練習を行い、発表の洗練化を行うことを目的としています。詳細については、下記の「B群「生命機能学Ⅰ、Ⅱ」実施要項を参照してください。

#### c：特別集中講義

秋学期以降に開講される集中講義で2日間程度の日程で実施されます。履修登録の時期は秋学期になるので、受講希望者は忘れずに履修登録してください。

#### ○C群研究科目

所属研究室等での研究活動（修士レベル相当）です。

#### ○D群プロジェクト研究

所属研究室以外の研究室での研究に参加することにより、異分野を経験し、バックグラウンドを広めることを目的とした科目です。

#### ○E群研究科目

所属研究室等での研究活動（博士後期課程相当）です。

### ■ B群専門科目認定のための「5つのセミナー聴講レポート」について

1、2年次対象のB群専門科目のうち、「特別集中講義Ⅰ～Ⅷ」及び「生命機能学」以外の科目（「ナノ生体科学ⅠA、ナノ生体科学ⅠB、……、理工医学ⅡS」）については、所属研究室等のセミナーへの参加とは別に、学内外で開催されるセミナー5つの聴講レポートを提出することが単位認定の条件となっています。

自分の研究分野以外にも知見を広めてほしいという意図ですので、学内外を問わず様々なセミナーへ積極的に参加してください。本研究科で開催されるセミナーは、ホームページの掲示板やポスター等で通知されます。外国人等による英語でのセミナーも多

く開催されています。生命機能研究科研究交流会（FBSコロキウム）も対象セミナーとなっています。

なお、どのようなセミナーを聴講するかは、指導教員または授業担当教員と相談して決めてください。※詳細についてはOUメールアドレス（大阪大学が付与する個人メールアドレス→・・・・@ecs.osaka-u.ac.jp）に通知します。

#### 【注意事項】

- ・1年次のB群科目認定に5つ、2年次のB群科目認定に5つがそれぞれ必要です。
- ・所属研究室等の発表は不可とします。

### ■ B群「生命機能学」実施要項

#### 【基本方針】

1、2年次に、自身の研究テーマに関して異なる研究室のメンバーと討論することにより異なる視点から自身の研究を見直す機会を作る。

#### 【実施形態】

副指導教員へ自身の研究の進捗状況を報告し討論を行ったうえで助言を得る。  
また、2年次学年末には中間発表前の練習を行い、発表の洗練化を行う。

#### 【実施時期】

副指導教員決定直後（4月入学者は1年次8月頃、10月入学者は1年次2月頃）、学期始めや学期終わりなどに年2回実施する。なお、副指導教員の判断により3回目以降を実施する場合もある。

#### 【成績評価方法】

所定の様式により、学生から直接副指導教員に実施依頼を行う。

【生命機能学の実施の流れ】※詳細についてはOUメールアドレス（大阪大学が付与する個人メールアドレス→・・・・@ecs.osaka-u.ac.jp）に通知します。

### ■ 「研究倫理」について

「研究倫理」は正規の授業科目ではなく、eラーニングによる講習です。単位はありませんが、「研究倫理」の受講は、1年次学生についてはC群科目単位認定の、3年次学生についてはE群科目単位認定のための必須要件となりますので、1年次と3年次にそれぞれ必ず受講してください。原則として、春学期に実施されます。詳細については、別途通知します。

### ■ D群「プロジェクト研究」実施要項

#### 【基本方針】

3年次以降、一定の期間、所属する研究室とは別の研究室での研究に参加することにより、異分野を経験し、バックグラウンドを広める。

#### 【実施形態】

以下のAを基本とするが、Bも可。

#### A. 生命機能研究科の他研究室で研究

- 1) 研究に参加（目安は計2週間）
- 2) セミナー・コロキウム・ジャーナルクラブ等の研究活動に参加。（目安は週1回、

計 8 週間。期間中に発表の機会を与えられることが望ましい。)

B. その他

当該学生が「他研究室での研究に参加している」と指導教員が判断する活動であれば、単位認定可。例としては以下が挙げられる。

- 3) 国内外における実習コースや短期集中コースへの参加。
- 4) 外国人教員による講義やジャーナルクラブへの参加。
- 5) 国内外における他研究室での研究に参加。
- 6) 企業におけるインターンシップへの参加。

以下の通り履修登録を行うこと。

- ① 上記「A」を「兼任教員・連携講座の研究室」以外の研究室で実施した場合  
→参加する研究室の科目を科目一覧より選択すること。単位認定は受入研究室の教員が行う。
- ② 上記「A」を生命機能研究科の①以外の研究室で実施した場合  
→所属研究室の科目を科目一覧より選択すること。単位認定は所属研究室の指導教員が行う。  
兼任教員・連携講座の研究室に所属の場合は「プロジェクト研究 S」を選択すること。
- ③ 上記「B」で実施した場合  
→所属研究室の科目を科目一覧より選択すること。単位認定は所属研究室の指導教員が行う。  
兼任教員・連携講座の研究室に所属の場合は「プロジェクト研究 S」を選択すること。